

社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）

平成23年度 事業計画

（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

1 吹奏楽教育に関する講習会・研修会等の開催

（1）第30回吹奏楽ゼミナール

趣旨と目的：新しい吹奏楽指導のあり方を研究し、次代を担う吹奏楽指導者を育成し、吹奏楽の普及と指導者の技術・音楽性の向上を目的とする。また、バンド指導法全般について学校教育のカリキュラムの編成上、手薄な事項を実践的に講習することにより、学校教育を補い、更に、生涯学習の場としても社会的に意義の高い講習会である。吹奏楽の第一線で活躍している講師を迎え、基礎から応用まで各受講者に適したコースを設定し、技術・音楽性の向上と、教育的な効用に重点を置いたゼミナールを実施する。

主催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

後援：文部科学省、洗足学園音楽大学、

社団法人全日本吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟（予定）

コース内容：上級・中級Ⅰ・中級Ⅱ・入門コースの4コース

講座内容：リハーサルクリニック・指揮法・編曲法・合奏指導法・楽器指導法

時期：平成23年12月28日（水）～30日（金）（予定）

場所：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市）

参加予定人数：約160名

受講料：上級コース 29,400円（JBA会員 19,950円）

中級コースⅠ 29,400円（JBA会員 19,950円）

中級コースⅡ 29,400円（JBA会員 19,950円）

入門コース 29,400円（JBA会員 19,950円）

（2）指揮法講習会

趣旨：我が国の吹奏楽は、近年めざましい発展を遂げ、その演奏レベルは大変向上してきた。一方、吹奏楽を指導している指揮者が、バンド指導のための正しい指揮法を習得することは大変困難な状況にある。本講習会は、（財）日本音楽財団の協力を得て、我が国第一線で活躍する指揮者を講師として派遣して直接指導を行うことにより、吹奏楽指導者が気軽に質の高い講習を受けられる機会を設け、幅広く指導者を育成することを目的とする。実施内容は、指揮法の基本と応用について体系的かつ実践的に講習し、指揮技術の習得及び音楽性の向上を図り、次代を担う吹奏楽指導者の育成と我が国吹奏楽の振興を図る。

期 間：平成23年7月～同24年2月までの期間で5ヶ所開催

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

協 力：財団法人日本音楽財団

講 師：紙谷一衛・川本統脩ほか

開催予定： 担当支部名 時期

①北海道支部 未定

②関東甲信越支部 未定

③東海支部 未定

④関西支部 未定

⑤九州支部 未定

参加予定：各会場 約30名 合計 約210名

受講料：(予定) 会員 ¥3,000, 一般 ¥5,000

## 2 吹奏楽教育に資する指導者の資格認定及び吹奏楽器演奏技能の検定

### (1) 第26回吹奏楽指導者資格認定試験

趣旨及び内容：吹奏楽指導者の知識及び技能を客観的に評価することにより、吹奏楽指導者としての社会的資格を認定するとともに、指導者の技術・音楽性の向上に資する。認定資格のグレードを1級から3級に区分し、筆記試験、実技試験及び小論文により判定する。なお、合格者には社団法人日本吹奏楽指導者協会から認定証を交付する。

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

後 援：洗足学園音楽大学 (予定)

協 力：洗足学園音楽大学学生モデルバンド

受験資格：満20歳以上(3級のみ満18歳以上)の吹奏楽指導経験者で、それぞれ下記事項を満たしている者、またはこれと同等の資格を有するとJBAが認めた者とする。

- ・1級認定 JBA会員で、かつJBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール上級コース」を修了し、2級(旧中級)認定に合格している者
- ・2級認定 JBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール上級または中級コース」のいずれかを修了した者
- ・3級認定 JBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール」のいずれかを修了した者

試験内容：理論筆記試験・編曲作品審査・合奏実技試験・指揮実技試験・小論文  
ただし、3級は理論筆記試験・指揮実技試験及び小論文のみ

受験方法：①5科目（3級は理論筆記試験・指揮実技試験及び小論文のみ）全て受験する事が望ましいが、1科目だけの受験も可能

②認定証を取得するためには、5科目全て（3級認定は理論筆記試験・指揮実技試験及び小論文のみ）に合格する必要がある。

③これまでに認定試験を受けて科目合格している者は、科目合格している者は、合格していない科目のみを受験すること。

参加予定：約35名

受験料：各級別に上記試験課目毎に1,050円～10,500円

開催日程：平成23年12月30日（金）（予定）

会場：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市）

## （2）吹奏楽器（管・打楽器）演奏技能検定

趣旨と目的：主として中・高校生を対象とした吹奏楽器の演奏技能検定で、1級から6級（初級）まであり、各々の級に応じて課題曲と学科（楽典）の試験を行う。さらに、この検定は受験者自ら目標を決めて課題に挑戦することにより自分を鍛え、音楽の知識や技術或いは教養を身につけて、社会人となっても音楽を心の糧として豊かな人生を送れるように企画されたものである。しかし、今年度も課題曲及び検定方法の見直しを図るため、検定は休止する見通しとなっている。

## 3 吹奏楽教育に関する国際交流の実施

◇第15回WASBE（世界吹奏楽会議）への参加

趣旨：WASBEはユネスコからも認められている吹奏楽の世界的組織である。

会議では吹奏楽に関する研究発表・講演・コンサート等が企画され、吹奏楽の世界的普及とレベル向上及び吹奏楽に携わる人々の人的交流を図っている。この会議は1年おきに開催されている。

開催日：平成23年7月3日～9日

開催地：台湾・嘉義市

会場：嘉義市内野外音楽堂、同文化会館

参加者：JBA役員1名

日本からのバンド出場：東京佼成ウインドオーケストラ、  
大阪音楽大学ウインド・アンサンブル

#### 4 吹奏楽生涯学習及び社会教育事業の推進

##### ◇社会人バンドフォーラム

趣 旨：21世紀は社会人バンド（一般社会人による吹奏楽）が吹奏楽界における演奏活動の主流となると考えられており、日本各地で活動している社会人バンドの育成・レベル向上を目標に企画されたフォーラムである。今年度はJBA通常総会の当日に、同じ会場で開催する。

内 容：講演「温故知新」  
講師 維新ふるさと館館長 福田賢治 氏

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

開 催 日：平成23年6月26日（日）

場 所：城山観光ホテル（鹿児島県鹿児島市）

参加人数：（予定）JBA会員中総会出席者50名

#### 5 吹奏楽教育に関する出版物の刊行

##### （1）『吹奏楽紀要』（論文集）の発刊

協会会員相互の研さんのため、また、吹奏楽に関心を持つ社会人、あるいは後輩育成のために、会員各自の考えや経験・調査研究したことを研究論文集としてまとめて年1回発刊する。今年度は6月に第17号を発刊予定。

##### （2）機関誌『ウインド・フォーラム』の発行

協会の会員同志の情報交換及び活動計画とその状況報告等、年3回程度機関誌を発行して、協会活動の活性化と会員の意識高揚を図る。今年度は、第94号（平成23年5月）、第95号（同9月）、第96号（平成24年2月）発行予定。

#### 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

##### （1）日本吹奏楽発祥記念演奏会

趣 旨：明治2年、横浜市にある本牧山妙香寺において、英国陸軍軍楽隊長であったJ.W.フェントンによって薩摩藩士32名が楽器の指導を受けたのが、日本吹奏楽の発祥である。平成元年9月15日、日本吹奏楽指導者協会が中心となって、吹奏楽界から広く浄財を集め、その地に建立したのが「日本吹奏楽発祥の地」の碑である。これを記念して当協会が主催して、毎年この演奏会を実施している。

開 催 日：平成23年10月10日（祝・月）

場 所：本牧山妙香寺（神奈川県横浜市）

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会  
主 管：社団法人日本吹奏楽指導者協会 東京都部会・神奈川県部会  
共 催：神奈川県吹奏楽連盟、本牧山 妙香寺  
出 演：海上自衛隊横須賀音楽隊、大西学園中学校・高等学校吹奏楽部（予定）

(2) 第16回「全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト」の開催

趣 旨：管楽器及び打楽器を演奏する中・高校生の技術向上を図り、併せて吹奏楽全般を発揚し啓蒙することを目的とする。

①ソロコンテスト本選開催予定

開 催 日：平成24年3月23日（金）  
場 所：アクトシテイ浜松 中ホール（静岡県浜松市）  
主 催：浜松市、(財)浜松市文化振興運営財団、日本高等学校吹奏楽連盟  
共 催：浜松市教育委員会、(社)日本吹奏楽指導者協会 等 5団体

②構成と参加者

ア) 中学生部門及び高校生部門の2部門  
イ) JBAの各支部長から推薦された各部門3名以内の中・高校生  
ウ) JBAとして、各部門上位3名の入賞者に盾を授与

③各地区の選抜要領

各支部の特性により、それぞれ選抜方法は異なっている。

支部名	時期（予定）	選抜方法
北海道	平成24年 2月	北海道支部主催の地区大会で選抜
東 北	平成24年 2月	東北支部主催の地区大会で選抜
関東甲信越	平成24年 2月	関東甲信越支部主催の地区大会で選抜
東 海	平成24年 2月	東海支部で選抜
北 陸	平成23年11月	北陸支部主催の地区大会で選抜
関 西	平成24年 2月	関西支部主催の地区大会で選抜
中 国	平成23年10月	中国新聞実施のコンテスト上位者から選抜
四 国	平成24年 2月	四国支部主催の地区大会で選抜
九 州	平成24年 2月	九州支部主催の地区大会で選抜

(3) 吹奏楽楽曲開発（下谷奨励賞）

趣 旨：昭和50年度より毎年、JBA顧問でもある株式会社千修代表取締役会長 下谷隆之氏のご厚意により実施してきた吹奏楽作品・新曲「下谷賞」は、平成19年度から作品募集による審査を取り止め、「21世紀の吹奏楽」実行委員会」と連携し、同委員会が主催する“響宴”に選ばれた作品の中から、優れた作品に対して「下谷奨励賞」を贈っている。

審査方法：平成23年6月25日（土）に開催される第14回“響宴”に選ばれて演奏された中から4作品程度（うち2作品を下谷奨励賞、他2作品を佳作）を選考する。受賞作品の発表は7月下旬予定。

表彰：賞状並びに賞金（ただし、佳作は賞状のみ）を贈呈する。（9月下旬）

#### （4）吹奏楽学会の開催

趣旨：毎年総会開催時に、会員の研鑽に資するため、「吹奏楽学会」として講演会あるいは研究発表会を開催している。

内容：公開リハーサル

講師 鹿児島情報高等学校吹奏楽部顧問・JBA九州支部顧問 屋比久勲 氏  
モデルバンド 鹿児島ウィンドアンサンブル

主催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

開催日：平成23年6月26日（日）

場所：城山観光ホテル（鹿児島県鹿児島市）

参加人数：（予定）JBA会員中総会出席者50名

#### （5）後援・協賛事業

斯界の諸団体が事業を行うにあたり、JBAの後援、協賛等の名義使用の申請があった場合、それが吹奏楽発展のために有意義と認められれば、名義使用を認めている。

#### （6）JBA人材バンクの設置

趣旨及び内容：社団法人日本吹奏楽指導者協会は、吹奏楽指導者である会員が、各自の専門分野において幅広い知識と経験を生かして青少年の音楽教育と情操教育のため力尽し、次世代の指導者の知識と技術向上に資するとともに、生涯にわたって音楽を愛好する生涯学習の基盤を醸成することを目的とし、JBA人材バンクを設置した。吹奏楽の各分野において豊富な専門知識と技能を有する指導者を登録し、その情報を提供する。登録者は、全員JBAの会員で指揮者、吹奏楽指導者、楽器指導者、作・編曲家及び吹奏楽教育家等であり、本事業の主旨に賛同して登録申込をした会員の中で、JBA人材バンク委員会の「推薦指導者選考基準」に合致した指導者のみを本部ホームページに公開する。

#### （7）バンドの日

趣旨と目的：一般化した「バンド」（楽器演奏）文化を社会に広く正しく認知させることにより、将来への基盤を確かなものにするためにJBAが制定した「バンドの日（11月3日）」に関するアピール活動を行う。

○ J B A がリーダーとなり、全ての関連組織・団体、教育機関、楽器・音楽業界に呼びかけ賛同を得る。

○ 啓発運動として行う

- ・ 経費をかけずに地道に呼びかける運動を展開する。
- ・ 吹奏楽だけでなく、プラスバンド、マーチングバンド、ジャズバンド、ロックバンドなど幅広く参加を呼びかける。
- ・ 既存のイベントにも参加を呼びかける。

(例) 駅コン、パレード、公園コンサート、クリニック、セミナー、楽器フェア、フェスティバル等。

○ 会員に対して「バンドの日」の意義を周知する。